



ひまわりノ畠



教育目標 思索・和敬・剛健
R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう



<http://www.kyose.ed.jp/kyosedaijotyu/gakou/index.htm>

2025 ノーベル賞 2部門で日本の科学者が受賞

先週、本年度のノーベル賞が発表されました。癌治療などにつながる「免疫に関する細胞」を発見された坂口志文さん（大阪大学特任教授）が生理学・医学賞で、環境問題などの解決につながる「新しい素材」を開発された北川進さん（京都大学特別教授）が化学賞で、それぞれの功績が認められて受賞されました。それぞれがこれから多くの研究に応用され、世の中を大きく変える可能性がある基礎研究とのことで、科学の素晴らしい力を見せてくれたように思います。おめでとうございます。



日本において個人の受賞は、2021年の中村修二氏（物理学賞：地球温暖化の研究）以来で30人目になりますが、受賞者は全員が男性です。世界で見ても、科学3部門（生医・物理・化学）での女性受賞者の割合は5%と、文学賞などに比べると少ないようです。日本において、女性科学者の割合は17.5%（内閣府調査）で、主要国の中では、断トツで低いそうです。大学進学でも理工系の女性比率は19%（文科省調査）です。

「女子生徒は、理数が苦手？」は、社会にある思い込みだった！

7月に「全国学力・学習状況調査」の結果が発表されましたが、初めて男女別の結果も公表されました。国語の正答率は女子57.4%、男子52.0%と女子の方が5.4ポイント高く、数学は女子48.6%、男子49.1%で、理科は女子50.8%、男子50.3%（500基準のスコア）と数学・理科では正答率の差はないという結果でした。

しかし差がないにも関わらず、アンケート項目で「数学が好き・得意」と答えた割合は、女子36.1%、男子55.9%、理科では、女子41.7%、男子59.5%と、男子よりも好き・得意と思っている女子は20%ほど少ないという結果でした。正答率が良かった生徒でも「得意でない」と答えた女子は男子の2倍もいるそうです。ちなみに「国語が好き・得意」との項目では、女子59.5%、男子44.1%でした。

成績に差が無いにも関わらず、男女のこの意識差について、文科省は「男子は理数系、女子は文系という社会の刷り込みが影響しているのでは？」と分析しています。ジェンダー教育に関わる大学教授の話によると「理数は男子に向いている」という「社会にある無意識な思い込み」により、「女子が自信を持てない環境」があるのではと述べています。※参照：朝日新聞記事

数年前に、ACジャパン（公共広告機構）の広告で、「聞こえてきた声」というのがありました。人物が描かれていらない背景だけの漫画のフキダシに、「我が社の経営方針は…」「ご飯できたよう～」「将来の夢はパイロットです！」などのセリフが書かれている静止画が流れ、最後に「聞こえてきたのは、男性の声ですか？ 女性の声ですか？」と書かれた字幕が流れる内容で、これも「無意識な思い込み」についての広告です。

目指せ、リケジョ（理科系女子）！

ノーベル賞と聞いて思いつく人物に、小学校の図書室で読んだ偉人伝で紹介されていたマリ・キュリー博士という女性科学者がいます。放射線の研究で、物理学賞と化学賞の2つを受賞したすごい人物です。



そういえば、水族館や科学博物館、プラネタリウムなどに行くと、「社会にある思い込み」を持たない、小さな子供たちが、男女関係なく、楽しそうに恐竜の化石や化学実験などを興味深く楽しんでいます。

15年ほど前に、リケジョ（理科系女子）という言葉が流行りましたが、現在は薬学や栄養学系など分野によっては、女子学生のほうが多く、製品開発などをするメーカーは、「理系を学んだ女子生徒を積極的に採用する傾向が強い」と分析する就職専門誌もあります。

目指せ！リケジョ。しかし、この言葉自体も、思い込みから派生した言葉のような気がします。

■清瀬教育の日 10/16(木)～18(土)

清瀬市教育委員会は、10月の第3週目の木～土曜日の3日間を清瀬教育の日として、清瀬市立小・中学校で授業公開や行事などを実施しています。本校でも授業公開、サポートルーム見学、進路説明会などを行いました。



三日間で、のべ126名（家族）の保護者・地域の方々が来校され、土曜日に行った3学年の「修学旅行まとめ発表会（学級内）」には、各教室に一杯の見学者が入るほどのご参観を頂きました。

①【修学旅行まとめ発表】3年生 総合 10/18(土)

行動班ごとに、三日間の見学を振り返るスライドを作成して、見学先での学習成果を、班で起きたハプニングの話を織り込んだり、クイズにしたりと趣向を凝らして、学習成果報告をしてくれました。一ヶ月ほど前の楽しかった修学旅行の記憶が、よみがえってきました。

《各クラス発表の様子 動画》 公開期間：10/31(金)までです。



3A 4班



3B 3班



3C 3班

※限定公開

左のQRコード
からアクセス下
さい。



②【第二回進路説明会】3年生 進路 10/18(土)

土曜日の4校時に開いた第2回進路説明会には、1・2年生の保護者の方も含め、90名ほどのご参加がありました。ありがとうございます。10/27(月)から始まる3年生三者面談（進路面談）を前にして、保護者と生徒と一緒に並んで座っていただき、進路担当の教員より、先日東京都教育委員会より発表された入試要項を元にした制度や、今後の日程、志望校をご家庭で相談していくべきうえでのお願いなどについて、説明をさせて頂きました。都内私立高校の推薦入試まで、3か月ほどになりました。サポート校や私立通信制高校など、今月末から推薦が始まる学校もあります。いよいよ学校生活の軸足をぐんと受験に乗せる時となりました。



③【ビブリオフォーラム】10/18(土)

清瀬教育の日最終日の午後、児童センターころぼっくるのホールで、ビブリオフォーラムが開催されました。平成30年にビブリオバトルとして始まり、コロナ禍の休止後に、ビブリオフォーラムとして衣替えをして、8年目となる取り組みです。清瀬市教育委員会では、市立図書館の再編や、おうち図書館事業、図書館を使った調べるコンクール、清瀬の100冊など、読書活動の推進事業に力を入れていますが、このフォーラムは、中学生による書評発表を通して、読書の良さ、楽しさを発信する取り組みです。今年は、清瀬市内の公立中学校5校と、私立中学校から、9名の生徒の代表生徒が集まり、自分が読んだ本の中からのお薦め本について、熱く、紹介をしてくれました。



書評発表会 本校生徒の紹介本

2年生 紹介書籍「かがみの孤城」辻村 深月 著

3年生 紹介書籍「ルウとおじいちゃん」クレール・クレマン 著



家庭配布版では、生徒の氏名を紹介させて頂いています。

■清瀬五中生の活躍のご紹介 おめでとうございます！

【陸上競技】第78回東京都中学校支部対抗陸上競技大会

2年男子 110mH 総合1位 2年生

